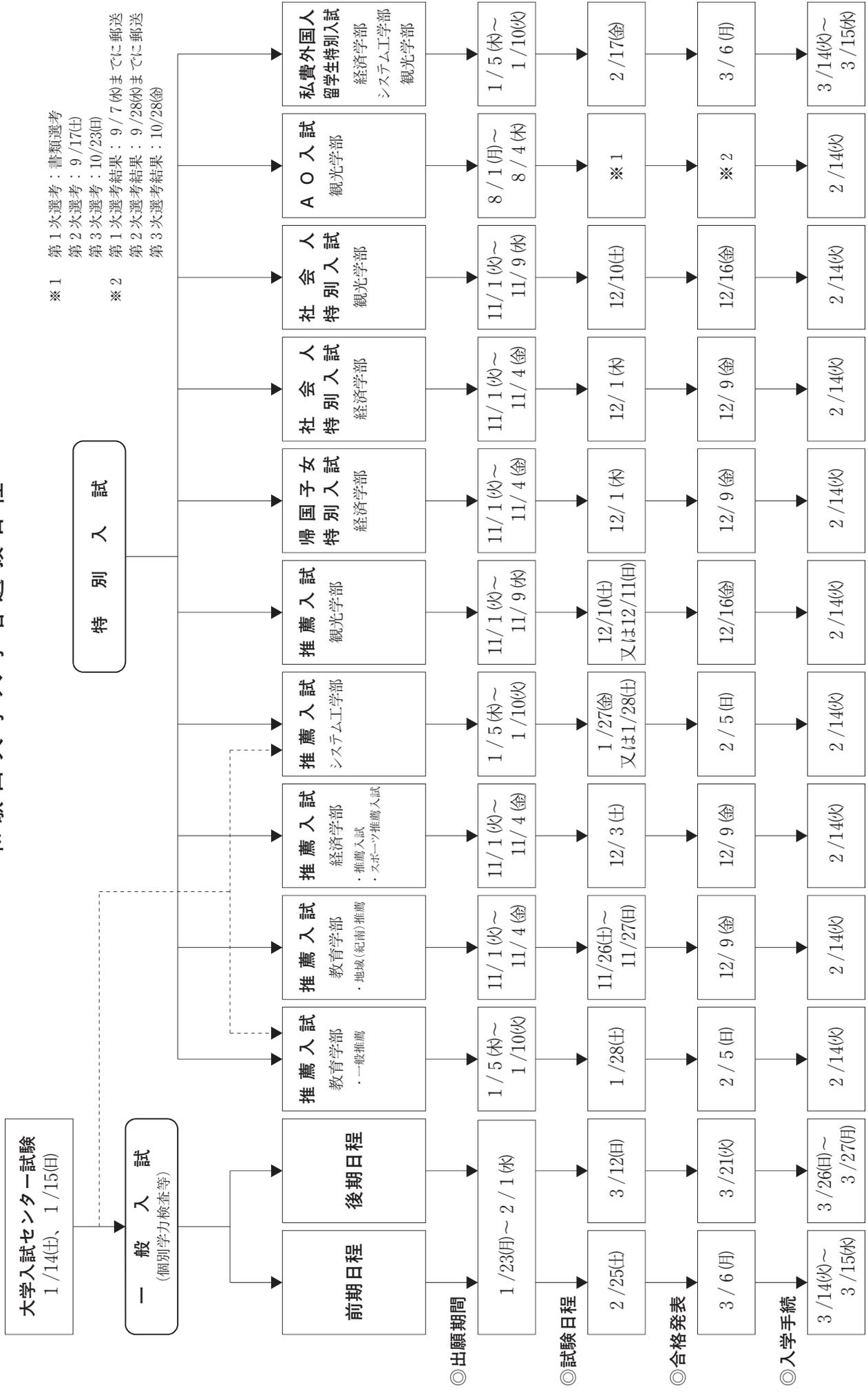


# 和歌山大学入学選抜日程



※1 第1次選考：書類選考  
 第2次選考：9/17(土)  
 第3次選考：10/23(日)  
 ※2 第1次選考結果：9/7(火)までに郵送  
 第2次選考結果：9/28(火)までに郵送  
 第3次選考結果：10/28(金)

◎出願期間  
 ◎試験日程  
 ◎合格発表  
 ◎入学手続

# 目 次

## 和歌山大学入学者選抜日程

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針).....	1
入学定員及び募集人員.....	5
一般入試.....	7
出願資格.....	7
出願上の注意事項.....	7
受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談.....	8
実施方式及び併願について.....	9
入学者選抜方法等.....	9
入学者選抜実施教科・科目等.....	10
教育学部実技検査内容.....	16
個別学力検査等実施教科・科目の試験時間.....	18
特別入試.....	19
推薦入試(教育学部・経済学部・システム工学部・観光学部).....	19
帰国子女特別入試(経済学部).....	28
社会人特別入試(経済学部・観光学部).....	29
AO入試(観光学部).....	31
私費外国人留学生特別入試(経済学部・システム工学部・観光学部).....	32
学生募集要項等の発表及び請求方法.....	34
学部を紹介.....	37

入試に関する問い合わせ先(裏表紙裏面)

和歌山大学へのアクセス(裏表紙)



## アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

### 1. 大学の教育目的

和歌山大学は、和歌山、南大阪地域の学術文化の中心として広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を研究、教授し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とし、社会に寄与する有為な人材を育成します。

### 2. 大学のアドミッション・ポリシー

- (1)学問への探究心にあふれ、課題解決のため意欲的に取り組むことのできる人
- (2)明確な目的意識をもつ人
- (3)新しいことに積極的に挑戦する意欲をもつ人

## 教育学部

### 1. 学部の教育目的

本学部は、人間と教育に関する深い理解と、科学・芸術・文化に関する専門的知識にもとづき、教育実践力を高めることで、次代を担う子どもたちの成長と発達を支援していくことのできる高度な資質・能力をもった教員の養成を目的とします。

この目的の実現をはかるために、初等教育コース・中等教育コース・特別支援教育コースの3つのコースをおきます。こうすることでキャリアパスを明確にし、自分のめざすべき進路に応じた専門教育を受けることができるようにしています。

**初等教育コース**では、児童の発達や教科のつながりなどを総合的に捉え、小中連携の視野を持った小学校教員の養成をめざします。子どもと教育に関する専門的な知識と技能を修得するとともに、教育に関するさまざまな科学・研究分野を学びます。さらに、学校教育の基本的課題のみならず今日の学校内外で多発する複雑で深刻な教育問題に対応できる、総合的で実践的な教育的力量を身につけます。

**中等教育コース**では、教科（分野）の専門性を深めつつ、中学校・高等学校教員の養成をめざします。子どもと教育に関する専門的な知識と技能を修得するとともに、学校における各教科に関する幅広く深い知識と専門的技量を修得します。さらに、文化の継承・発展という教育の基本的課題に対応できる、総合的で実践的な教育的力量を身につけます。

**特別支援教育コース**では、学習に困難のある子どもや、発達が気になる子ども、障害のある子どもなど、特別なニーズを有する子どもの教育について、専門的知識や理論を身につけながら実践的な指導能力を養い、両者のバランスに優れた教員の養成を目的とします。最新の理論の修得に加えて、在学中から実際に子どもと接する機会を多く持ち、体験を通して学ぶことを重視します。

### 2. アドミッション・ポリシー

上記のような教育目的を達成するために、次のような意欲と資質をもった人を求めています。

#### 全体に共通するものとして

- (1)教員になりたいという熱意を持ち、子どもと共に学んでいく姿勢を持てる人
- (2)子どもの様々な特性を理解し、周囲の人々と協力して支援していくことができる人

### 初等教育コース

- (1)児童の発達や教科のつながりを広く学んで、小学校の教員をめざす人
- (2)幼児教育を視野に入れつつ、小学校教育を考えたい人
- (3)小学校教育と中学校教育の連携・接続を意識しつつ、小学校教育を考えたい人

### 中等教育コース

- (1)教科の専門性を深め、中学校・高等学校の教員をめざす人
- (2)中等教育段階の生徒の発達と学習を意識しつつ、中学校・高等学校教育を考えたい人

### 特別支援教育コース

- (1)特別支援学校教員をめざす人
- (2)幼稚園・小学校・中学校・高等学校において教育上特別なニーズを有する幼児・児童・生徒に対しても適切な支援を行える教員をめざす人
- (3)教育学、心理学、臨床学、医学、福祉学など、関連諸科学を横断し幅広い知識・技能を修得したい人

## 経済学部

### 1. 教育目的

本学部は、経済学・経営学・会計学・情報学・法学など、多様化・複雑化する経済社会の問題発見・解決に不可欠な社会科学の諸分野の教員を揃え、次のような人材の育成を目的とします。

- (1)基礎学力（幅広い教養と論理的思考力）と広い視野（社会科学の諸分野の専門知識と実務能力）を礎として、多様で変化の激しい予測困難な社会を体系的に理解できる人材
  - (2)個人の自立と他者との協働を図りながら、経済社会のさまざまな問題を真摯に受け止め、その解決に向けて的確に判断し創造的・実践的・主体的に行動できる人材
- 具体的には、金融業・サービス業・製造業などの各種産業や、公務・会計・税務・法務・商業教育・調査研究等の分野において、国際社会及び地域社会で活躍できる人材の育成を目指します。

### 2. アドミッション・ポリシー

上記のような教育目的に基づき、次のような人を求めています。

- (1)経済学・経営学・法学等を学ぶうえで必要となる幅広い基礎学力を有する人。
- (2)社会・経済における諸問題に関心を持ち、卒業後、専門知識を活かして関連分野で能力を発揮したい人。
- (3)主体的に学修し、新しいことに積極的に挑戦する意欲を有する人。
- (4)コミュニケーション能力を持ち、協調性があり活発に議論ができ、リーダーシップを有する人。

又、特にスポーツ推薦入試では次のような人を求めます。

- (5)スポーツマネジメントに関心を持ち、関連する経営学・経済学などの専門領域の学修に積極的に取り組める人。
- (6)スポーツの実践・普及・振興に関心を有する人。

### 3. 入学者選抜の基本方針

本学部では、一般入試（前期日程・後期日程）のほか、推薦入試・スポーツ推薦入試・社会人特別入試・帰国子女特別入試・私費外国人留学生特別入試及び第3年次編入学入試など、複数の入学者選抜方法を採用することで、多様な人材の受け入れを目指しています。

- (1)一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験で5～6教科の基礎的・総合的学力をみるとともに、個別学力検査では英語と数学を実施します。
- (2)一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験で外国語を含む3～4科目の基礎的な学力をみるとともに、個別学力検査（小論文）の配点を大きくとることで、社会科学を学ぶうえで必要な理解力（読解力）・論理的な思考力・表現力（文章力）に秀でた人を求めます。
- (3)推薦入試では、高等学校において優秀な学業成績を収め、かつ、社会科学を学ぶうえで必要な理解力（読解力）・論理的な思考力・表現力（文章力）を有するとともに、高いコミュニケーション能力を有する人を求めます。
- (4)スポーツ推薦入試では、高等学校において優秀なスポーツ成績と良好な学業成績を収め、かつ、社会科学を学ぶうえで必要な理解力（読解力）・論理的な思考力・表現力（文章力）を有するとともに、高いコミュニケーション能力を有する人を求めます。
- (5)以上のほか、社会人特別入試・帰国子女特別入試・私費外国人留学生特別入試及び第3年次編入学入試を行い、多様な人材の受け入れを目指します。

## システム工学部

### 1. 学部の教育目的

工学ではなく「システム工学」という学部名称には、教育対象の複合性・総合性が意識されています。したがって本学部の教育目的としてまず第一に、

- (1)視野を広く持ち、技術を体系的に理解できる能力を養う

ことをあげなければなりません。

しかし、初めて高等教育を受ける受験生に対して、総合力だけに重点をおくこともできません。よって、

- (2)専門領域に応じた基礎学力・基礎技術を確実に修得させる

こともまた必要です。すなわち、本学部では専門性にある程度の幅をもたせて科学技術の教育を行うことを目的とします。

「システム」にはまた応用性を重視するという意味合いも含まれています。本学部では実学教育を旨とし、

- (3)産業・社会のニーズに即応できる実践力を養うこと

も目的として掲げています。

これには、知識と技術を実際の製造物に応用できる能力とともに、システムを開発・運用するプロセスに必要なコミュニケーション能力を養うことも含まれます。

## 2. アドミッション・ポリシー

前節で設定した教育目的を実現するため、本学部の受験生に対し、下記のようなアドミッション・ポリシーを掲げています。高等学校等で履修すべき具体的な教科・科目については、入学者選抜実施教科・科目等を参考にしてください。

- (1)工学系大学教育にたえるため、理数系の基礎知識と問題解決能力を求める。
- (2)システム工学特有の複合領域の大学教育に適合するよう、論理的思考力と状況判断力、さらに高い倫理感を求める。
- (3)今日の技術者・研究者に必要な英語力とコミュニケーション力の素養を求める。

## 観光学部

### 1. 学部の教育目的

21世紀は「観光の時代」。観光は、世界のあらゆる国や地域で最も有望な成長分野として注目されています。日本においても、観光は戦略産業と位置づけられ、官民一体での「観光立国」実現に向けた政策や取組が加速するなか、観光産業や行政の現場と密接に連携しながら、新しい観光学の創造及び観光を支えるに相応しい豊かな教養と専門性、さらにはグローバル時代に対応したハイレベルな国際的・学際的視点を有する観光人材の輩出がますます期待されています。

そこで本学部は、今日の観光を支えるにふさわしい専門性、幅広い教養、日本文化に対する理解と知識、ITスキル、そして高度な外国語運用能力を兼ね備えた人材の育成を目的とします。観光学の学問体系の全体像として「観光経営」「地域再生」「観光文化」の3つの基本領域を総合的に学ぶとともに、いずれかの領域に専門性を発揮できるようになること、そうした専門性を実践的な諸課題に応用できる包括的対応力（ジェネリックスキル）を獲得することが目標となります。さらに、異文化コミュニケーション力を高め、グローバル化した社会状況への高度な対応力を涵養することや、地域の諸課題に取り組む実践型教育を通して、オンサイトでの創造的実践力を身につけることを目指します。

### 2. アドミッション・ポリシー

- (1)学問への探究心にあふれ、課題解決のために論理的に思考できる人
- (2)明確な目的意識を持ち、新しいことに積極的に挑戦できる人
- (3)高いコミュニケーション能力を持ち、リーダーシップを発揮できる人
- (4)観光に関連する組織体の経営問題に関心がある人
- (5)観光を通じた地域再生の問題に関心がある人
- (6)国際的な交流や、国内外の様々な地域の文化に関心がある人
- (7)インターンシップやフィールド調査などの学外実習に意欲的に取り組むことのできる人
- (8)大学で修得した知識を活用して社会で活躍したい人

## 入学定員及び募集人員

学部	学科・課程	入学定員	募 集 人 員								
			一般入試		特 別 入 試						
			前期日程	後期日程	推薦入試(一般)	推薦入試(地域) [紀南]	スポーツ推薦入試	帰国子女特別入試	社会人特別入試	AO入試	私費外国人留学生特別入試
教育学部	学校教育教員養成課程	165	100 <small>(備考1参照)</small>	35 <small>(備考1参照)</small>	20 <small>(備考2参照)</small>	10 <small>(備考2参照)</small>	—	—	—	—	—
	小 計	165	100	35	20	10	—	—	—	—	—
経済学部	経済学科	300	180	80	30	—	4	3	3	—	若干名
	小 計	300	180	80	30	—	4	3	3	—	—
システム工学部	システム工学科	305	170	100	35	—	—	—	—	—	若干名
	小 計	305	170	100	35	—	—	—	—	—	—
観光学部	観光学科	120	55	35	25	—	—	—	2	3	若干名
	小 計	120	55	35	25	—	—	—	2	3	—
合 計		890	505	250	110	10	4	3	5	3	—

注1 特別入試の推薦入試、スポーツ推薦入試、帰国子女特別入試、社会人特別入試、AO入試の合格者が、募集人員に満たない場合には、その差を前期日程の募集人員に加えます。

注2 私費外国人留学生特別入試は、入学定員外として募集します。

〔備考〕

- 1 教育学部の学校教育教員養成課程の一般入試は、次のとおり募集します。

課 程	系・専攻	募集人員		
		前期日程	後期日程	
学校教育教員養成課程	文科系	45	25	
	理科系	35	10	
	実技系	音楽又は美術	10	/
		保健体育	10	
計		100	35	

(注)①文科系又は理科系を受験し、合格した人は、入学後に各コース（初等教育コース、中等教育コース、特別支援教育コース）への所属を決定します。

②実技系を受験し、合格した人は、入学後に各コース（初等教育コース、中等教育コース）への所属を決定します。

2 教育学部の学校教育教員養成課程の特別入試（推薦入試）は、次のとおり募集します。

課 程		コース	募集人員
学校教育教員養成課程	一般推薦枠	初等教育コース（文科系又は理科系）	10
		中等教育コース（文科系又は理科系）	5
		特別支援教育コース	5
	地域（紀南）推薦枠	初等教育コース（文科系又は理科系）	5
		中等教育コース（文科系又は理科系）	5
計			30

（注）推薦入試を受験し、合格した人は、入学後、コースの変更を認めません。

3 教育学部の募集区分と入学後のコース・専攻の対応は下表のとおりです。

〈一般入試〉

募集区分		入学後のコース・専攻		
学校教育教員養成課程	文科系	初等教育コース	教育学、心理学、国語科教育、英語教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育	
		中等教育コース	教育学、心理学、国語科教育、英語科教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育	
		特別支援教育コース	特別支援教育学	
	理科系	初等教育コース	教育学、心理学、算数科教育、理科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育	
		中等教育コース	教育学、心理学、数学科教育、科学教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育	
		特別支援教育コース	特別支援教育学	
	実技系	音楽又は美術	初等教育コース	音楽科教育 図画工作科教育
			中等教育コース	音楽科教育 美術科教育
		保健体育	初等教育コース	体育科教育
中等教育コース			保健体育科教育	

（注）なお上記の欄は変更されることがあります。

〈推薦入試〉

募集区分		入学後の専攻	
学校教育教員養成課程	一般推薦枠	初等教育コース （文科系又は理科系）	文科系：教育学、心理学、国語科教育、英語教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育
			理科系：教育学、心理学、算数科教育、理科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育
		中等教育コース （文科系又は理科系）	文科系：教育学、心理学、国語科教育、英語科教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育
	理科系：教育学、心理学、数学科教育、科学教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育		
	特別支援教育コース	特別支援教育学	
	地域（紀南）推薦枠	初等教育コース （文科系又は理科系）	文科系：教育学、心理学、国語科教育、英語教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育
			理科系：教育学、心理学、算数科教育、理科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育
		中等教育コース （文科系又は理科系）	文科系：教育学、心理学、国語科教育、英語科教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育
			理科系：教育学、心理学、数学科教育、科学教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育

（注）なお上記の欄は変更されることがあります。

## 一般入試

### 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ各学部・学科等が指定する平成29年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目（10～14ページ参照）を受験した者。

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者。
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者。
3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成29年3月31日までにこれらに該当する見込みの者。これらの者は以下のとおり。
  - ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。
  - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者。
  - ③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者。
  - ④文部科学大臣の指定したもの（昭和23年文部省告示第47号）。
  - ⑤高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び平成29年3月31日までに合格見込みの者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者。
4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者及び平成29年3月31日までに18歳に達する者。

### 出願上の注意事項

（注1）平成29年度大学入試センター試験で各学部・学科等が指定する教科・科目を受験していなければ、出願資格を満たしていないことになり出願できません。本学は、過年度の大学入試センター試験の成績は利用しません。

（注2）個別の入学資格審査の申請方法等

上記出願資格の4により一般入試に出願する者は、個別に入学資格の認定を受ける必要があります。下記を参照のうえ申請してください。

（申請方法・受付期間）

※事前に提出書類等の指示を行いますので、必ず各（申請書類等受付期間）開始前に下記照会先に問い合わせてください。

申請書類等の提出方法は、持参・郵送により受付します。

窓口受付時間は、9時から17時（12時から13時を除く）までとします。

郵送の場合は、封筒表に「一般入試 入学資格認定申請書在中」と朱書きし、書留速達郵便にて受付期間内までに和歌山大学入試課に必着するよう郵送してください。

なお、各受付期間最終日17時を超えて到着のものは受理しません。

※申請書類等受理後、別途必要書類を求める場合があります。

(申請書類等受付期間)

第1回 平成28年8月22日(月)～8月26日(金)【17時までに入試課必着】

※大学入試センター試験に出願する場合は、第1回審査で認定を受ける必要があります。

第2回 平成29年1月16日(月)～1月18日(水)【17時までに入試課必着】

(照会先・申請書類等提出先)

〒640-8510 和歌山市栄谷930

和歌山大学入試課 TEL 073-457-7116 (直通)

(審査結果)

入学資格を認定された者には、「和歌山大学入学資格認定書」を申請者宛に書留速達郵便にて郵送します。

## 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障がいのある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願前にあらかじめ事前相談の申請をしてください。又、出願受付締切後の不慮の事故等による負傷者についても、受験上及び修学上の配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

点字等受験上の特別な準備を必要とする者については、内容によっては対応に時間を要しますのでできるだけ早い時期に事前相談の申請をしてください。

なお、申請期限等詳細については学生募集要項に記載します。

### 1. 申請方法

事前に下記の連絡・申請先まで電話連絡のうえ、申請書及び必要書類(診断書(写)、大学入試センター試験受験上の配慮申請時の診断書(写)、大学入試センター試験受験上の配慮事項決定通知書(写)等)を提出してください。詳細については学生募集要項に記載します。

なお、場合により、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校等関係者と面談を行います。

### 2. 連絡・申請先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学入試課

TEL 073-457-7116

## 実施方式及び併願について

本学の一般入試は、分離分割方式による「前期日程」と「後期日程」で実施します。

本学の前期日程に出願する場合は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）の前期日程との併願はできません。

本学の後期日程に出願する場合は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）の後期日程との併願はできません。

本学内の学部間又は同一学部内における前期日程と後期日程への出願、いわゆる学内併願は可能です。その場合は、前期日程と後期日程のそれぞれに出願書類を提出し、入学検定料を納めてください。

※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部は、  
公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org>）を参照してください。

## 入学者選抜方法等

入学者選抜方法は、平成29年度大学入試センター試験の成績と本学が実施する個別学力検査等の結果及び調査書を総合して行います。

大学入試センター試験の利用教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目等並びにこれらの配点については、各学部の【入学者選抜実施教科・科目等】を参照してください。

教育学部

平成29年度 和歌山大学入学者選抜実施教科・科目等

学部・学科等名及び入学定員等 (平成28年度 志願倍率)	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の 入試方法 等
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	小論文	実技	
教育学部 (4,3) 前期 165人 後期 100 その他 30	前期 2月25日	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から2 現社、倫、政経、倫・政経	国語総合	国語総合	センター試験	200	*100	*100	200	100	200				900
		公民	数I・数A 数II・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2(又は物、化、生、地から1) 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (6教科8(7)科目又は5教科8(7)科目)	歴史 地理	世B、日A、日B、地理Bから1 コミュ英I・コミュ英II・ コミュ英III・英表I (2教科)	個別学力検査 等	*200	*100	*100			*200				400
	後期 3月12日	外国		その他	小論文	センター試験	200	*100	*100	200	100	200				900
		理科	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経	教理	教I・教II・教A・教B 物理基礎・物理、化学基礎・化学、 生物基礎・生物、地学基礎・地学から1 (2教科)	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900
	前期 2月25日	公民	数I・数A 数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)	その他	小論文	個別学力検査 等							200			200
	後期 3月12日	外国		その他	小論文	センター試験	200	*100	*100	200	100	200				1100
実技系 「音楽又は美術」 前期 10人	前期 2月25日	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から2又は1 現社、倫、政経、倫・政経	その他	実技検査	センター試験	200	*100	*100	100	100	200				900
		数	数II・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2(又は物、化、生、地から1) 又は物、化、生、地から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (6教科8(7)科目又は5教科8(7)科目 又は5教科7科目)	その他	実技検査	個別学力検査 等							400			400
	前期 2月25日	理科	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から2又は1 現社、倫、政経、倫・政経	その他	実技検査	センター試験	200	*100	*100	100	100	200				1300
		外国		その他	実技検査	個別学力検査 等							400			400
実技系 「保健体育」 前期 10人	前期 2月25日	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から2又は1 現社、倫、政経、倫・政経	その他	実技検査	センター試験	200	*100	*100	100	100	200				900
		数	数II・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2(又は物、化、生、地から1) 又は物、化、生、地から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (6教科8(7)科目又は5教科8(7)科目 又は5教科7科目)	その他	実技検査	個別学力検査 等							400			400
	前期 2月25日	理科	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から2又は1 現社、倫、政経、倫・政経	その他	実技検査	センター試験	200	*100	*100	100	100	200				1300
		外国		その他	実技検査	個別学力検査 等							400			400
		その他		その他	実技検査	計	200	*100	*100	200	200	200				1300

#### 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- ① 選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、高得点の教科・科目を選択します。
- ② 地歴及び公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を選択します。同様に、理科で基礎を付していない1科目を利用する場合も、得点にかかわらず、第1解答科目を選択します。
- ③ 外国語の「英語」において、筆記試験とリスニングを課します（リスニングが免除となった場合を除き、筆記試験及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります）。
- ④ 「学校教育教員養成課程（実技系）（前期日程）」を受験する者は、地歴及び公民から2科目を選択した場合には、理科で基礎を付していない科目1科目（又は基礎を付していない科目1科目）を選択するか、もしくは、地歴及び公民から1科目を選択した場合には、理科で基礎を付していない科目2科目を選択してください。
- ⑤ 学校教育教員養成課程（実技系）（前期日程）を受験する者で、地歴及び公民から2科目かつ理科で基礎を付していない科目から2科目を受験した場合は、下記ア・イのうち、どちらか高得点の組み合わせを選択します。

ア 「地歴公民」の2科目と「理科 基礎を付していない科目」の2科目と「地歴公民」の第1解答科目  
イ 「理科 基礎を付していない科目」の2科目と「地歴公民」の第1解答科目

#### 【個別学力検査等】欄

- ① 「国語総合」については、近代以降の文章、古典（古文、漢文）から出題します。
- ② 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aについては全範囲を出題範囲とします。数学Bについては、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- ③ 「英語表現Ⅰ」については、リスニングを出題範囲から除きます。

#### 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- ① 配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ② 大学入試センター試験 外国語の「英語」において、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）に圧縮したものを英語の得点とします。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記試験（200点満点）の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とします。
- ③ 実技系の選抜にあたっては、実技試験の点数が200点に達しない者は総合点にかかわらず不合格とします。

# 経済学部

No. 2

学部・学科等名及び入学定員等 (平成28年度 志願倍率)	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							特別の 入試方法 等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		総合 問題	小論文	実技
経済学部 (6, 4)	前期 2月25日	国	国 世B、日B、地理Bから1又は2 公民 現社、倫、政経、倫・政経から0又は1 } から2	数 教I、教II・教Aから1 教II、教II・教B、簿、情報から1	数 教I・教II・教A・教B、簿から1 コミュ英I・コミュ英II・ コミュ英III・英表I	センター試験	200	*100 100	*100	200	100	200			900	推薦 スポーツ 推薦
		理	理 物基、化基、生基、地基から2 (又は物、化、生、地から1) 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (6教科8(7)科目又は5教科8(7)科目)	理 物基、化基、生基、地基から2 (又は物、化、生、地から1)	理 物基、化基、生基、地基から2 (又は物、化、生、地から1)	個別学力検査 等				(600) (300)			(300) (600)			900
	後期 3月12日	国	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1又は2 公民 現社、倫、政経、倫・政経から1	数 教I、教II・教Aから1 教II、教II・教B、簿、情報から1	小論文 (社会科学を学ぶうえで必要な理解力、 論理的な思考力、表現力を問う)	センター試験	*100	*100	*100	*100	*100	400			600	
		理	理 物基、化基、生基、地基から2 (又は物、化、生、地から1)	理 物基、化基、生基、地基から2 (又は物、化、生、地から1)	個別学力検査 等								1200		1200	
		外	外 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (3教科4(3)科目又は2教科3科目)	外 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (3教科4(3)科目又は2教科3科目)	計	200	*100 100	*100	*100	*100	100	(800) (500)			1800	

## 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

(前期日程・後期日程)

① 選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、高得点の教科・科目の成績を採用します。ただし、地歴及び公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を採用します。同様に理科で基礎を付していない1科目を利用する場合も、得点にかかわらず、第1解答科目を採用します。

② 外国語の「英語」において、筆記試験とリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、筆記試験及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。

(前期日程)

① 地歴及び公民の2科目を選択する際、【世B、日B、地理B】から必ず1科目以上を選択してください。

② 理科で必要科目数を超えて受験している場合には、次のa. b.のうち得点の高い方を理科の成績として採用します。

a. 理科で基礎を付した2科目の合計得点

b. 理科で基礎を付していない第1解答科目の得点

(後期日程)

本学部が利用する教科・科目数を超えて受験している場合には、次の中で最も高得点になる利用教科・科目数の組合せを採用します。

a. 地歴2科目と公民1科目の組合せ

b. 地歴1科目と公民1科目の組合せ

c. ・国語、

・地歴・公民の第1解答科目、

・数学【教I、教II・教A】、

・数学【教II、教II・教B、簿、情報】、

・理科【物基、化基、生基、地基】の2科目 (又は【物、化、生、地】の第1解答科目)

から2つの組合せ

## 【個別学力検査等】欄

① 数学I、数学II、数学Aは全範囲を出題範囲とします。数学Bについては、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

② 「英語表現I」については、リスニングを出題範囲から除きます。

## 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

① 配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表します。

② 大学入試センター試験 外国語の「英語」において、筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点を0.8倍(200点満点)に圧縮したものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記試験(200点満点)の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とし、本学部の教科の点数を2倍します。

③ 前期日程の個別学力検査において、「数学」「外国語」は各300点とし、高得点の教科の点数を2倍します。

# システム工学部

No.3

学部・学科等名及び入学定員等 (平成28年度 志願倍率)	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							特別の 入試方法 等				
		教科	科目名等	教科	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		総合 問題	小論文	実技	配点 合計
システム工学部 (4,0) 前期 305人 後期 170 その他 100 その他 35	前期 2月25日	国	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 地歴 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 公民 現社、倫、政経 教 現社、倫、政経、英I・教Aから1 教I、教II・教B、簿、情報から1 理 物、化、生、地から2 外 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)	数	教I・教II・教III・教A・教B コミュニ英I・コミュニ英II・ コミュニ英III・英表I	センター試験	200	*100	*100	200	400	200	200			1100	推薦 私費外国 人留学生 追加合格
		計	200	*100	*100	400	400	400	1500								
	後期 3月12日	国	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 地歴 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 公民 現社、倫、政経 教 現社、倫、政経、英I・教Aから1 教I、教II・教B、簿、情報から1 理 物、化、生、地から2 外 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)	他	総合問題「記述解答問題」 他 (システム工学を学ぶにふさわしい能力・ 適性等を判断する。)	センター試験	200	*100	*100	300	300	200	400		1100		
		計	200	*100	*100	300	300	200	400	400	400	400	1500				

## 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- ①地歴及び公民において、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、得点にかかわらず第1解答科目を採択します。
- ②外国語の「英語」において、筆記試験とリスニングを課します (リスニングが免除となった場合を除き、筆記試験及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。

## 【個別学力検査等】欄

- ①数学I、数学II、数学III、数学Aは全範囲を出題範囲とします。数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- ②「英語表現I」については、リスニングを出題範囲から除きます。

## 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- ①配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ②大学入試センター試験 外国語の「英語」において、筆記試験 (200点満点) とリスニング (50点満点) の合計点を0.8倍 (200点満点) に圧縮したものを英語の得点とします。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記試験 (200点満点) の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とします。

# 観光学部

No. 4

学部・学科等名及び入学定員等 (平成28年度 志願倍率)	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							特別の 入試方法 等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		総合 問題	小論文	実技
観光学部 (4.4) 前期 120人 後期 55 その他 30	前期 2月25日	国	世B、日B、地理Bから1又は2 } から2 現社、倫、政経、倫・政経から0又は1 }	国	国語総合 数I・数II・数A・数B } から1 コミュ英I・コミュ英II・ コミュ英III・英表I	センター試験	200	*100 100	*100	200	100	200			900	推薦 社会人 AO 私費外国 人留学生 追加合格
		地歴	数I、数II、数B、簿、情報から1 物理、化学、生基、地基から2(又は物、化、生、地から1) 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (6教科8(7)科目又は5教科8(7)科目)	数	数I・数Aから1 数II、数B、簿、情報から1 物理、化学、生基、地基から2 (又は物、化、生、地から1) 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (3教科4(3)科目又は2教科3科目)	個別学力検査 等	*300			*300			300			
	後期 3月12日	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 } 又は2 数I、数II、数Aから1 数II、数B、簿、情報から1 物理、化学、生基、地基から2 (又は物、化、生、地から1) 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 (3教科4(3)科目又は2教科3科目)	その他 小論文 ・基本的な国語力を試します。 ・課題文を与えて読解力、表現力を 問います。	センター試験	*100	*100 *100	*100	*100	*100	400				600	
		地歴		数	個別学力検査 等							400			400	
		公民		理	計	*100 *300	200 *300	*100 100	*100 *300	200 *300	100 500				1500	
		外		外	計	*100 *100	*100 *100	*100 *100	*100 *100	*100 *100	400 400				1000	

## 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- ①選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、高得点の教科・科目を選択します。
- ②地歴及び公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を選択します。同様に、理科で基礎を付していない1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を選択します。
- ③外国語の「英語」において、筆記試験とリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、筆記試験及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。
- ④前期日程を受験する者は、地歴及び公民の2科目を選択する場合は、必ず基礎を付した科目から2科目、他の教科から1科目の計3科目を選択してください。
- ⑤後期日程を受験する者は、理科で基礎を付した科目を選択する場合は、必ず基礎を付した科目から2科目、他の教科から1科目の計3科目を選択してください。
- ⑥後期日程を受験する者は、上記②及び、第1解答科目を使用せず第2解答科目とその他の教科を組み合わせることは認めないという条件のもと、最も得点が高くなる選択科目の組み合わせを選択します。

## 【個別学力検査等】欄

- ①前期日程の「国語総合」については、近代以降の文章、古典(古文、漢文)から出題します。
- ②数学I、数学II、数学Aは全範囲を出題範囲とします。数学Bについては、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- ③「英語表現I」については、リスニングを出題範囲から除きます。

## 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- ①配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ②大学入試センター試験 外国語の「英語」において、筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点を0.8倍(200点満点)に圧縮したものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記試験(200点満点)の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。



## 教育学部実技検査内容

課程・コース		学校教育教員養成課程〔実技系〕		
実施日程		前期日程		
志望 教科	区 分	選択種目	検 査 内 容	注意事項
音     楽	実技Ⅰ群	A. 声楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次の曲を原語・暗譜で演奏してください。</li> <li>○ 調性は任意で良いが、演奏する調性の伴奏用の楽譜のコピーを入学願書等とともに1部提出してください。(伴奏者は大学側が用意します。)</li> <li>G.B. バッサーニ作曲「眠っているのか、美しい女よ (Dormi, bella)」</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     高中声用は全音楽譜出版社刊『イタリア歌曲集2』、低声用はカワイ出版刊『古典イタリア歌曲集2』を使用してください。                 </div>	<b>選択種目の組み合わせ</b> 選択種目の組み合わせは以下の3とおりとします。 いずれかひとつの組み合わせを選択してください。 Aと2、Bと1、Cと2
		B. ピアノ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次の曲を暗譜で演奏してください。(くり返しは省略します。)</li> <li>L. van ベートーヴェン作曲「ピアノソナタ No.13 Op.27-1 第1楽章」</li> </ul>	
		C. 管・打楽器	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 任意の1曲を無伴奏で演奏してください。</li> <li>○ 暗譜の必要はありません。(演奏時間が長い場合は、途中でカットすることがあります。)</li> <li>○ 演奏する楽曲の楽譜のコピーを入学願書等とともに1部提出してください。</li> <li>○ 楽器及び演奏に必要なものは各自持参してください。但し、マリンバの場合、大学で用意する楽器(サイトウ MS-75 &lt;4オクターヴ、49鍵、C28~C76&gt;)で演奏してください。</li> </ul> <p><b>【受験可能楽器】</b>                      フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、マリンバ、スネア・ドラムからひとつを選択</p>	
	実技Ⅱ群	1 声楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次の曲を暗譜のうえ母音のaで演奏してください。</li> <li>○ 調性は任意で良いが、演奏する調性の伴奏用の楽譜のコピーを入学願書等とともに1部提出してください。(伴奏者は大学側が用意します。)</li> <li>『コンコーネ50番』より15番</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     全音楽譜出版社刊『コンコーネ50番』を使用してください。                 </div>	
		2 ピアノ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次の曲を暗譜で演奏してください。(くり返しは省略します。)</li> <li>モーツァルト作曲「ピアノソナタ No.16 KV545 第2楽章」</li> </ul>	

美術	共通 〔全員が受験してください。〕	造形表現Ⅰ（平面） 与えられたモチーフを配置し、鉛筆を用いて素描してください。  (試験時間：120分)	持参物 素描用黒鉛筆、練り消しゴム、プラスチック消しゴム、カッターナイフ、30cm程度の直定規、三角定規(一組)、コンパス ※その他の道具等はすべて大学で用意します。
		造形表現Ⅱ（立体） 与えられた主題を、配付された素材(紙)の特性を生かして立体的に表現してください。  (試験時間：180分)	
保健体育	共通 〔全員が受験してください。〕	〔基礎運動能力テスト〕 1. 12分間走 2. 立ち幅跳び 3. ハンドボール投げ 4. マット運動	雨天の場合は基礎運動能力テストの種目に一部変更があります。 ○各種目に応じたシューズの使用を認めます。体育館シューズを別に用意してください。 ○バドミントン・テニス受験者はラケットの持参を認めます。 ○柔道受験者は柔道衣を持参してください。 ○野球受験者はグローブ、バット、ヘルメットを持参してください。
		〔種目別 実技テスト〕 1. 陸上競技 (100m走、800m走、走幅跳、走高跳、砲丸投、槍投、ハンマー投、円盤投から1種目) 2. バスケットボール      3. バレーボール 4. サッカー                      5. 柔道 6. バドミントン              7. 創作ダンス 8. 野球（硬式）              9. ハンドボール 10. テニス（硬式）	

## 個別学力検査等実施教科・科目の試験時間

### ●前期日程

学部	教科	学 力 検 査					実 技 検 査
		国 語	数 学	外国語	地理歴史	理 科	
教 育 学 部		90分	90分	90分	90分	90分	およそ学力検査3教科分の所要時間に準ずる。
経 済 学 部			90分	90分			
システム工学部			120分	90分			
観 光 学 部		90分	90分	90分			

### ●後期日程

学 部	教 科	学 力 検 査 等
		小 論 文
教 育 学 部		120分

学 部	教 科	学 力 検 査 等
		小 論 文
経 済 学 部		90分

学 部	教 科	学 力 検 査 等
		総合問題「記述解答問題」
システム工学部		120分

学 部	教 科	学 力 検 査 等
		小 論 文
観 光 学 部		90分

# 特別入試

## 平成29年度 特別入試方法（推薦入試一般推薦枠）

No. 1

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース（文科系又は理科系）																																															
募集人員	10名																																															
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者。</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者。 (1)高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月までに卒業見込みの者。 (2)通常の課程による12年の学校教育を平成29年3月までに修了見込みの者。</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者。 (1)本学部が指定する平成29年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験した者。 (2)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり1名とする）。 (3)「初等教育」に関心を持ち、小学校教員を志望する者。 (4)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。</p>																																															
入試方法等	<p>大学入試センター試験の成績、面接の成績及び出願書類（推薦書、志望理由書、調査書）により総合して行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th> <th>個別学力検査等の教科・科目名等</th> <th rowspan="2">配点合計</th> </tr> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> <th>配点 (文科系)</th> <th>配点 (理科系)</th> <th>面接</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>60</td> <td>40</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">300</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">500</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数I・数A 数II・数B、簿、情報から1</td> <td>40</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1）</td> <td>20</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1</td> <td>60</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">【5教科7(6)科目】</td> <td>200</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 大学入試センター試験における選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、高得点の教科・科目を採択します。 (注2) 大学入試センター試験の地歴及び公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を採択します。同様に、理科で基礎を付していない1科目を利用する場合も、得点にかかわらず、第1解答科目を採択します。 (注3) 大学入試センター試験 外国語の「英語」において、筆記試験とリスニングを課します（リスニングが免除となった場合を除き、筆記試験及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります）。 (注4) 大学入試センター試験 外国語の「英語」において、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）に圧縮したものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記試験（200点満点）の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。 (注5) 大学入試センター試験の配点は、出願時に選択する文科系又は理科系により異なりますので注意してください。</p>					大学入試センター試験の利用教科・科目名				個別学力検査等の教科・科目名等	配点合計	教科	科目名等	配点 (文科系)	配点 (理科系)	面接	国	国	60	40	300	500	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	20	20	公民	現社、倫、政経、倫・政経			数	数I・数A 数II・数B、簿、情報から1	40	60	理	物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1）	20	40	外	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1	60	40	【5教科7(6)科目】		200	200		
大学入試センター試験の利用教科・科目名				個別学力検査等の教科・科目名等	配点合計																																											
教科	科目名等	配点 (文科系)	配点 (理科系)	面接																																												
国	国	60	40	300	500																																											
地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	20	20																																													
公民	現社、倫、政経、倫・政経																																															
数	数I・数A 数II・数B、簿、情報から1	40	60																																													
理	物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1）	20	40																																													
外	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1	60	40																																													
【5教科7(6)科目】		200	200																																													
出願期間	平成29年1月5日(木)～1月10日(火)																																															
入試期日	平成29年1月28日(土)																																															
合格発表日	平成29年2月5日(日)																																															
その他	(注)一般推薦枠と地域（紀南）推薦枠は併願できません。																																															

## 平成29年度 特別入試方法（推薦入試一般推薦枠）

No. 2

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース（文科系又は理科系）																																																		
募集人員	5名																																																		
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者。</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月までに卒業見込みの者。 (2)通常の課程による12年の学校教育を平成29年3月までに修了見込みの者。</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者。</p> <p>(1)本学部が指定する平成29年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験した者。 (2)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり1名とする）。 (3)「中等教育」に関心を持ち、中学校教員を志望する者。 (4)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。</p>																																																		
入試方法等	<p>大学入試センター試験の成績、面接の成績及び出願書類（推薦書、志望理由書、調査書）により総合して行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th> <th style="text-align: center;">個別学力検査等の教科・科目名等</th> <th style="text-align: center;">/</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">教科</th> <th style="text-align: center;">科目名等</th> <th style="text-align: center;">配点 (文科系)</th> <th style="text-align: center;">配点 (理科系)</th> <th style="text-align: center;">面接</th> <th style="text-align: center;">配点 合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">国</td> <td style="text-align: center;">国</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">300</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">500</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">地歴</td> <td style="text-align: center;">世A、世B、日A、日B、地理A、地理B</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">20</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">公民</td> <td style="text-align: center;">現社、倫、政経、倫・政経</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">数</td> <td style="text-align: center;">数I・数A</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">60</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">数II・数B、簿、情報から1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">理</td> <td style="text-align: center;">物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1）</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">外</td> <td style="text-align: center;">英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">【5教科7(6)科目】</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1)大学入試センター試験における選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、高得点の教科・科目を採択します。</p> <p>(注2)大学入試センター試験の地歴及び公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を採択します。同様に、理科で基礎を付していない1科目を利用する場合も、得点にかかわらず、第1解答科目を採択します。</p> <p>(注3)大学入試センター試験 外国語の「英語」において、筆記試験とリスニングを課します（リスニングが免除となった場合を除き、筆記試験及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります）。</p> <p>(注4)大学入試センター試験 外国語の「英語」において、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）に圧縮したものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記試験（200点満点）の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。</p> <p>(注5)大学入試センター試験の配点は、出願時に選択する文科系又は理科系により異なりますので注意してください。</p>					大学入試センター試験の利用教科・科目名				個別学力検査等の教科・科目名等	/	教科	科目名等	配点 (文科系)	配点 (理科系)	面接	配点 合計	国	国	60	40	300	500	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	20	20	公民	現社、倫、政経、倫・政経	数	数I・数A	40	60		数II・数B、簿、情報から1			理	物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1）	20	40	外	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1	60	40	【5教科7(6)科目】		200	200		
大学入試センター試験の利用教科・科目名				個別学力検査等の教科・科目名等	/																																														
教科	科目名等	配点 (文科系)	配点 (理科系)	面接	配点 合計																																														
国	国	60	40	300	500																																														
地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	20	20																																																
公民	現社、倫、政経、倫・政経																																																		
数	数I・数A	40	60																																																
	数II・数B、簿、情報から1																																																		
理	物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1）	20	40																																																
外	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1	60	40																																																
【5教科7(6)科目】		200	200																																																
出願期間	平成29年1月5日(木)～1月10日(火)																																																		
入試期日	平成29年1月28日(土)																																																		
合格発表日	平成29年2月5日(日)																																																		
その他	(注)一般推薦枠と地域（紀南）推薦枠は併願できません。																																																		

## 平成29年度 特別入試方法（推薦入試一般推薦枠）

No. 3

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース																																																									
募集人員	5名																																																									
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者。</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月までに卒業見込みの者。 (2)通常の課程による12年の学校教育を平成29年3月までに修了見込みの者。</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者。</p> <p>(1)本学部が指定する平成29年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験した者。 (2)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり1名とする）。 (3)「特別支援教育」に関心を持ち、特別支援学校教員を志望する者。 (4)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。</p>																																																									
入試方法等	<p>大学入試センター試験の成績、面接の成績及び出願書類（推薦書、志望理由書、調査書）により総合して行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th> <th style="text-align: center;">個別学力検査等の教科・科目名等</th> <th style="text-align: center;">配点</th> <th style="text-align: center;">面接</th> <th style="text-align: center;">配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">教科</td> <td style="text-align: center;">科目名等</td> <td style="text-align: center;">配点</td> <td style="text-align: center;">面接</td> <td style="text-align: center;">配点合計</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">300</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">500</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A、世B、日A、日B、地理A、地理B</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">25</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数I・数A</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>数II・数B、簿、情報から1</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1）</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">【5教科7(6)科目】</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1)大学入試センター試験における選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、高得点の教科・科目を採択します。</p> <p>(注2)大学入試センター試験の地歴及び公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を採択します。同様に、理科で基礎を付していない1科目を利用する場合も、得点にかかわらず、第1解答科目を採択します。</p> <p>(注3)大学入試センター試験 外国語の「英語」において、筆記試験とリスニングを課します（リスニングが免除となった場合を除き、筆記試験及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります）。</p> <p>(注4)大学入試センター試験 外国語の「英語」において、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）に圧縮したものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記試験（200点満点）の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。</p>	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等の教科・科目名等	配点	面接	配点合計	教科	科目名等	配点	面接	配点合計			国	国	50	300	500			地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	25			公民	現社、倫、政経、倫・政経			数	数I・数A	50				数II・数B、簿、情報から1	25			理	物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1）	50			外	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1	200			【5教科7(6)科目】		200				
大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等の教科・科目名等	配点	面接	配点合計																																																				
教科	科目名等	配点	面接	配点合計																																																						
国	国	50	300	500																																																						
地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	25																																																								
公民	現社、倫、政経、倫・政経																																																									
数	数I・数A	50																																																								
	数II・数B、簿、情報から1	25																																																								
理	物基、化基、生基、地基から2（又は物、化、生、地から1）	50																																																								
外	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1	200																																																								
【5教科7(6)科目】		200																																																								
出願期間	平成29年1月5日(木)～1月10日(火)																																																									
入試期日	平成29年1月28日(土)																																																									
合格発表日	平成29年2月5日(日)																																																									
その他	(注)一般推薦枠と地域（紀南）推薦枠は併願できません。																																																									

平成29年度 特別入試方法（推薦入試 地域（紀南）推薦枠）

No. 4

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース（文科系又は理科系）						
募集人員	5名						
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者。</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月までに卒業見込みの者。 (2)通常の課程による12年の学校教育を平成29年3月までに修了見込みの者。</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者。</p> <p>(1)和歌山県紀南（御坊市、田辺市、新宮市、日高郡、西牟婁郡、東牟婁郡）に所在する出身学校長が責任をもって推薦できる者。 (2)調査書全体の評定平均値が4.0以上の者（出願前の学期までの成績による）。 (3)「初等教育」に関心を持ち、紀南の小学校教員を志望する者。 (4)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。</p>						
入試方法等	<p>小論文の成績、面接の成績並びに出願書類（推薦書、志望理由書及び調査書）により総合して行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>小論文</th> <th>面接・推薦書・志望理由書・調査書</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>250</td> <td>250</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>	小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計	250	250	500
小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計					
250	250	500					
出願期間	平成28年11月1日(火)～11月4日(金)						
入試期日	平成28年11月26日(土)及び11月27日(日)						
合格発表日	平成28年12月9日(金)						
その他	<p>(注)地域（紀南）推薦枠については、各校3名を上限とします。 (注)一般推薦枠と地域（紀南）推薦枠は併願できません。</p>						

平成29年度 特別入試方法（推薦入試 地域（紀南）推薦枠）

No.5

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース（文科系又は理科系）						
募集人員	5名						
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者。</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月までに卒業見込みの者。 (2)通常の課程による12年の学校教育を平成29年3月までに修了見込みの者。</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者。</p> <p>(1)和歌山県紀南（御坊市、田辺市、新宮市、日高郡、西牟婁郡、東牟婁郡）に所在する出身学校長が責任をもって推薦できる者。 (2)調査書全体の評定平均値が4.0以上の者（出願直前の学期までの成績による）。 (3)「中等教育」に関心を持ち、紀南の中学校教員を志望する者。 (4)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。</p>						
入試方法等	<p>小論文の成績、面接の成績並びに出願書類（推薦書、志望理由書及び調査書）により総合して行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>小論文</th> <th>面接・推薦書・志望理由書・調査書</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>250</td> <td>250</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>	小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計	250	250	500
小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計					
250	250	500					
出願期間	平成28年11月1日(火)～11月4日(金)						
入試期日	平成28年11月26日(土)及び11月27日(日)						
合格発表日	平成28年12月9日(金)						
その他	<p>(注)地域（紀南）推薦枠については、各校3名を上限とします。 (注)一般推薦枠と地域（紀南）推薦枠は併願できません。</p>						

## 平成29年度 特別入試方法（推薦入試）

No. 6

実施学部・学科等名	経済学部（経済学科）						
募 集 人 員	30名						
出 願 資 格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者。</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月までに卒業見込みの者。 (2)通常の課程による12年の学校教育を平成29年3月までに修了見込みの者。</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者。</p> <p>(1)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり3名までとする）。 (2)調査書全体の評定平均値が4.0以上の者（出願時直前の学期までの成績による）。 (3)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。</p>						
入 試 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し、筆記試験（小論文）、面接（与えられたテーマに関する集団討論）及び推薦書、調査書等の出願書類により総合して行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="padding: 5px;">小論文</th> <th style="padding: 5px;">面接及び出願書類</th> <th style="padding: 5px;">合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">100</td> <td style="padding: 5px;">100</td> <td style="padding: 5px;">200</td> </tr> </tbody> </table>	小論文	面接及び出願書類	合 計	100	100	200
小論文	面接及び出願書類	合 計					
100	100	200					
出 願 期 間	平成28年11月1日(火)～11月4日(金)						
入 試 期 日	平成28年12月3日(土)						
合 格 発 表 日	平成28年12月9日(金)						
そ の 他							

## 平成29年度 特別入試方法（スポーツ推薦入試）

No. 7

実施学部・学科等名	経済学部（経済学科）						
募 集 人 員	4 名						
出 願 資 格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者。</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月までに卒業見込みの者。 (2)通常の課程による12年の学校教育を平成29年3月までに修了見込みの者。</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者。</p> <p>(1)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり1名とする）。 (2)学業とスポーツを3年間両立させてきたことによる出身学校長からの推薦であること。 (3)調査書全体の評定平均値が3.5以上の者（出願時直前の学期までの成績による）。 (4)高等学校の運動部の顧問あるいは所属する団体の監督・責任者から推薦される者（優れた人間性と、全国大会水準のスポーツ技能を有することによる推薦であること）。 (5)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。 (6)入学後は、本学体育会所属団体あるいはその他の団体でスポーツ活動を継続する意志を有する者。</p>						
入 試 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し、筆記試験（小論文）、面接及び出願書類（推薦書、志望理由書、調査書、スポーツ活動実績等）により総合して行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">小論文</td> <td style="padding: 5px;">面接及び出願書類</td> <td style="padding: 5px;">合 計</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">100</td> <td style="padding: 5px;">200</td> <td style="padding: 5px;">300</td> </tr> </table>	小論文	面接及び出願書類	合 計	100	200	300
小論文	面接及び出願書類	合 計					
100	200	300					
出 願 期 間	平成28年11月1日(火)～11月4日(金)						
入 試 期 日	平成28年12月3日(土)						
合 格 発 表 日	平成28年12月9日(金)						
そ の 他							

## 平成29年度 特別入試方法（推薦入試）

No. 8

実施学部・学科等名	システム工学部（システム工学科）																																											
募集人員	35名																																											
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者。</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者。</p> <p>(2)特別支援学校高等部を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者。</p> <p>(3)高等専門学校3年次を平成29年3月までに修了見込みの者。</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者。</p> <p>(1)本学部が指定する平成29年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験した者。</p> <p>(2)出身学校長が責任をもって推薦できる者。</p> <p>(3)学業成績が優秀で本学部での学習に強い意欲をもつ者。</p> <p>(4)合格した場合、入学することを確約できる者。</p>																																											
入試方法等	<p>入試は、出願書類、大学入試センター試験の成績及び面接により総合して行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学科名</th> <th colspan="3">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th> <th colspan="2">個別学力検査等</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> <th>配点</th> <th>教科・科目名等</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">システム工学科</td> <td>国</td> <td>国</td> <td>200</td> <td rowspan="7">面接</td> <td rowspan="7">600</td> <td rowspan="7">1800</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数I、数I・数Aから1</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td></td> <td>数II、数II・数B、簿、情報から1</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物、化、生、地から2</td> <td>150×2</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">計5教科7科目</td> <td>1200</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 大学入試センター試験の地歴及び公民において、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、得点にかかわらず第1解答科目を採択します。</p> <p>(注2) 大学入試センター試験 外国語の「英語」において、筆記試験とリスニングを課します（リスニングが免除となった場合を除き、筆記試験及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります）。</p> <p>(注3) 大学入試センター試験 外国語の「英語」において、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）に圧縮したものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記試験（200点満点）の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。</p>	学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		合計	教科	科目名等	配点	教科・科目名等	配点	システム工学科	国	国	200	面接	600	1800	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	100	公民	現社、倫、政経、倫・政経		数	数I、数I・数Aから1	150		数II、数II・数B、簿、情報から1	150	理	物、化、生、地から2	150×2	外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1	300		計5教科7科目	1200			
学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		合計																																						
	教科	科目名等	配点	教科・科目名等	配点																																							
システム工学科	国	国	200	面接	600	1800																																						
	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	100																																									
	公民	現社、倫、政経、倫・政経																																										
	数	数I、数I・数Aから1	150																																									
		数II、数II・数B、簿、情報から1	150																																									
	理	物、化、生、地から2	150×2																																									
	外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1	300																																									
	計5教科7科目	1200																																										
出願期間	平成29年1月5日(木)～1月10日(火)																																											
入試期日	平成29年1月27日(金)又は1月28日(土) (詳細は、受験票発送時に志願者本人に通知します。)																																											
合格発表日	平成29年2月5日(日)																																											
その他																																												

## 平成29年度 特別入試方法（推薦入試）

No. 9

実施学部・学科等名	観光学部（観光学科）		
募 集 人 員	25名		
出 願 資 格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者。</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月までに卒業見込みの者。 (2)通常の課程による12年の学校教育を平成29年3月までに修了見込みの者。</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者。</p> <p>(1)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり3名までとする）。 (2)調査書の「学習成績概評」がB段階（全体の評定平均値3.5）以上の者（出願時直前の学期までの成績による）。 (3)受験することを確約でき、合格した場合、入学することを確約できる者。</p>		
入 試 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し、面接（高等学校時代の優れた実績や体験などの自己アピールを含みます。）、推薦書、自己推薦書及び調査書により総合して行います。出願時に英語による自己推薦書を作成した者は、英語による面接となります。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 2px;">面接及び出願書類</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">100</td> </tr> </table>	面接及び出願書類	100
面接及び出願書類			
100			
出 願 期 間	平成28年11月1日(火)～11月9日(水)		
入 試 期 日	平成28年12月10日(土)又は12月11日(日) (詳細は、受験票発送時に志願者本人に通知します。)		
合 格 発 表 日	平成28年12月16日(金)		
そ の 他			

## 平成29年度 特別入試方法（帰国子女特別入試）

No.10

実施学部・学科等名	経済学部（経済学科）		
募 集 人 員	3名		
出 願 資 格	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者（保護者が先に日本に帰国した後、引き続き単身で在留している者を含む）のうち、次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を2015年4月1日から2017年3月31日までに修了した者又は修了見込みの者で外国において最終学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けた者。 ただし、外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とみなさない。</p> <p>(2)外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を2015年又は2016年に授与された者で、2017年3月31日までに18歳に達する者。</p> <p>(3)外国において、ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2015年又は2016年に取得した者で、2017年3月31日までに18歳に達する者。</p> <p>(4)外国において、フランス共和国のバカロレア資格証書を2015年又は2016年に授与された者で、2017年3月31日までに18歳に達する者。</p>		
入 試 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し、面接（日本語）及び出願書類（課題レポート等）により、総合して行います。</p> <p>・ 配点</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 150px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">面接及び出願書類</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">300</td> </tr> </table>	面接及び出願書類	300
面接及び出願書類			
300			
出 願 期 間	平成28(2016)年11月1日(火)～11月4日(金)		
入 試 期 日	平成28(2016)年12月1日(休)		
合 格 発 表 日	平成28(2016)年12月9日(金)		
そ の 他			

## 平成29年度 特別入試方法（社会人特別入試）

No.11

実施学部・学科等名	経済学部（経済学科）		
募 集 人 員	3名		
出 願 資 格	<p>出願時点で社会人の経験を3年以上(注)有し、平成29年3月31日までに年齢満21歳以上で、次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者。</p> <p>(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者。</p> <p>(3)高等学校卒業程度認定試験（又は大学入学資格検定試験）合格者及び平成29年3月31日までに合格見込みの者。</p> <p>(4)旧制諸学校の卒業者又は中途退学者で、文部科学大臣の定めるところにより大学入学資格を有する者。</p> <p>(注)「社会人の経験を3年以上」の対象となる期間と、高等学校の定時制課程及び通信制課程の在学期間は、重複しても構いません。</p>		
入 試 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し、面接及び出願書類（志望理由書・キャリアレポート等）により総合して行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 150px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">面接及び出願書類</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">300</td> </tr> </table>	面接及び出願書類	300
面接及び出願書類			
300			
出 願 期 間	平成28年11月1日(火)～11月4日(金)		
入 試 期 日	平成28年12月1日(休)		
合 格 発 表 日	平成28年12月9日(金)		
そ の 他			

## 平成29年度 特別入試方法（社会人特別入試）

No.12

実施学部・学科等名	観光学部（観光学科）						
募 集 人 員	2名						
出 願 資 格	<p>平成29年3月31日までに年齢満25歳に達し、<u>社会人の経験を3年以上</u>(注)有する者で、次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者。</p> <p>(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者。</p> <p>(3)高等学校卒業程度認定試験（又は大学入学資格検定試験）合格者及び平成29年3月31日までに合格見込みの者。</p> <p>(4)旧制諸学校の卒業者又は中途退学者で、文部科学大臣の定めるところによって大学入学資格を有する者。</p> <p>(注)<u>社会人の経験を3年以上</u>には、夜間又は通信制以外の学校在学期間は含めません。</p>						
入 試 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し、筆記試験（小論文）、面接により総合して行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">小論文</td> <td style="padding: 5px;">面 接</td> <td style="padding: 5px;">合 計</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">200</td> <td style="padding: 5px;">100</td> <td style="padding: 5px;">300</td> </tr> </table>	小論文	面 接	合 計	200	100	300
小論文	面 接	合 計					
200	100	300					
出 願 期 間	平成28年11月1日(火)～11月9日(水)						
入 試 期 日	平成28年12月10日(土)						
合 格 発 表 日	平成28年12月16日(金)						
そ の 他							

## 平成29年度 特別入試方法 (AO入試)

No.13

実施学部・学科等名	観光学部（観光学科）														
募 集 人 員	3名														
出 願 資 格	<p>以下の(1)～(4)のすべての要件を満たす者。</p> <p>(1)次の①から④のいずれかの要件を満たす者。</p> <p>①高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を平成28年3月に卒業した者及び平成29年3月に卒業見込みの者。  <small>※卒業見込みの者には、学校長の出願承諾書の提出を求める。</small></p> <p>②通常の課程による12年の学校教育を平成28年3月以降修了した者及び平成29年3月に修了見込みの者。</p> <p>③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを平成28年3月に修了した者及び平成29年3月に修了見込みの者（かつ、文部科学大臣が別に定める日以降であること）。  <small>※修了見込みの者には、学校長の出願承諾書の提出を求める。</small></p> <p>④高等学校卒業程度認定試験合格者及び平成29年3月31日までに合格見込みの者で、平成29年4月1日に年齢満18歳又は満19歳の者。</p> <p>(2)上記(1)①で出願する場合には、調査書の「学習成績概評」がB段階（全体の評定平均値3.5）以上の者（出願時直前の学期までの成績による）。</p> <p>(3)次のいずれかの成績を修めた者。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">・財団法人日本英語検定協会実用英語検定</td> <td style="text-align: right;">2級以上合格</td> </tr> <tr> <td>・TOEIC(団体特別受験制度(TOEIC IP)により受験した成績は認めない)</td> <td style="text-align: right;">500点以上</td> </tr> <tr> <td>・TOEFL iBT</td> <td style="text-align: right;">52点以上</td> </tr> <tr> <td>・TOEFL PBT(団体特別受験制度(TOEFL ITP)により受験した成績は認めない)</td> <td style="text-align: right;">470点以上</td> </tr> <tr> <td>・GTEC for STUDENTS</td> <td style="text-align: right;">500点以上</td> </tr> <tr> <td>・GTEC CBT</td> <td style="text-align: right;">730点以上</td> </tr> </table> <p>(4)受験することを確約でき、合格した場合には入学できることを確約できる者。</p>			・財団法人日本英語検定協会実用英語検定	2級以上合格	・TOEIC(団体特別受験制度(TOEIC IP)により受験した成績は認めない)	500点以上	・TOEFL iBT	52点以上	・TOEFL PBT(団体特別受験制度(TOEFL ITP)により受験した成績は認めない)	470点以上	・GTEC for STUDENTS	500点以上	・GTEC CBT	730点以上
・財団法人日本英語検定協会実用英語検定	2級以上合格														
・TOEIC(団体特別受験制度(TOEIC IP)により受験した成績は認めない)	500点以上														
・TOEFL iBT	52点以上														
・TOEFL PBT(団体特別受験制度(TOEFL ITP)により受験した成績は認めない)	470点以上														
・GTEC for STUDENTS	500点以上														
・GTEC CBT	730点以上														
入 試 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し、面接及びプレゼンテーション並びに出願書類により総合して行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">第1次選考</td> <td style="width: 33%;">第2次選考</td> <td style="width: 33%;">第3次選考</td> </tr> <tr> <td>書類選考</td> <td>面接</td> <td>プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </table>			第1次選考	第2次選考	第3次選考	書類選考	面接	プレゼンテーション	100	100	100			
第1次選考	第2次選考	第3次選考													
書類選考	面接	プレゼンテーション													
100	100	100													
出 願 期 間	平成28年8月1日(月)～8月4日(木)														
入 試 期 日	<p>第1次選考：志願書及び調査書等により選考を行います。</p> <p>第2次選考：平成28年9月17日(土)</p> <p>第3次選考：平成28年10月23日(日)</p>														
合 格 発 表 日	<p>第1次選考結果：平成28年9月7日(水)までに郵送により通知</p> <p>第2次選考結果：平成28年9月28日(水)までに郵送により通知</p> <p>第3次選考結果：平成28年10月28日(金)</p>														
そ の 他															

平成29年度 特別入試方法（私費外国人留学生特別入試）

No.14

実施学部・学科等名	経済学部（経済学科）、システム工学部（システム工学科）、観光学部（観光学科）									
募集人員	各学部若干名									
出願資格	次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者。									
	【基礎資格】									
	次の各号のいずれかに該当する者。									
	<p>(1)外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2017年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(2)外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格した者で、2017年3月31日までに18歳に達するもの。</p> <p>(3)外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した施設において我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、かつ、2017年3月31日までに18歳に達するもの。</p> <p>(4)スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を外国において取得した者で、2017年3月31日までに18歳に達するもの。</p> <p>(5)ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を外国において取得した者で、2017年3月31日までに18歳に達するもの。</p> <p>(6)フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を外国において取得した者で、2017年3月31日までに18歳に達するもの。</p>									
【要件】										
次のすべてに該当する者。										
<p>(1)日本国籍を有しない者（日本国の永住許可を得ている者を除く）。</p> <p>(2)日本の大学において教育を受ける目的をもって入国した者。</p> <p>(3)出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者又は入学後に取得できる者。</p> <p>(4)独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験した者で、出願する学部の指定する【日本留学試験、TOEIC又はTOEFLにおける出願要件】を満たす者。</p> <p>(5)TOEIC又はTOEFLのいずれかの成績が、出願する学部の指定する【日本留学試験、TOEIC又はTOEFLにおける出願要件】を満たす者。</p>										
【日本留学試験、TOEIC又はTOEFLにおける出願要件】										
試験		日本留学試験					TOEFL			
学部・学科	日本語	総合科目	理科	数学	得点等	摘要	TOEIC	PBT (ペーパー試験)	iBT (インターネット試験)	
経済学部 経済学科	○	○	×	「コース1」	「日本語」の得点が200点以上。 「総合科目」と「数学」の合計得点が240点以上	「総合科目」「数学」の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	450点以上	440点以上	42点以上	
システム工学部 システム工学科	○	×	○	「コース2」	「日本語」の得点が200点以上。 「数学」と「理科」の合計得点が240点以上	「理科」の選択科目は、物理、化学、生物のうち任意の2科目を選択とします。各科目の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	410点以上	390点以上	29点以上	
観光学部 観光学科	○	総合科目又は理科のいずれか	「コース1」又は「コース2」のいずれか	各科目の得点が平均点以上	「理科」の選択科目は、物理、化学、生物のうち任意の2科目を選択とします。「総合科目」「理科」「数学」の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	「理科」の選択科目は、物理、化学、生物のうち任意の2科目を選択とします。「総合科目」「理科」「数学」の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	450点以上	440点以上	42点以上	
<p>(注1) 日本留学試験の成績を利用できるのは、2016年度の6月実施分又は11月実施分のいずれかの試験結果とします。</p> <p>(注2) TOEICのスコアは、出願期間最終日よりさかのぼること2年以内に受験した試験結果とします。</p> <p>(注3) TOEFLのスコアは、出願期間最終日よりさかのぼること2年以内に受験した試験結果とします。</p> <p>(注4) 日本留学試験の「日本語」に関して、「記述」の点数は利用しません。</p>										

入 試 方 法 等	<p>日本留学試験の成績、本学が実施する面接（日本語）及び出願書類により総合して行います。</p> <p>・配点</p>							
		日本留学試験 (2016年6月実施分又は11月実施分のいずれか)				本学が実施する 学力検査等	配点 合計	備 考
		日本語 (「記述」は除く。)	総合 科目	理科	数学	面接 (日本語)		
	経済学部	○	○	×	○	○	2000	
	400	200	—	200	1200			
システム 工学部	○	×	○	○	○	1600		
	400	—	200	200	800			
観光学部	○	※		○	○	1600		
	400	200		200	800			
出 願 期 間	平成29(2017)年1月5日(木)～1月10日(火)							
入 試 期 日	平成29(2017)年2月17日(金)							
合 格 発 表 日	平成29(2017)年3月6日(月)							
そ の 他								

## 学生募集要項等の発表及び請求方法

### 1. 学生募集要項等の発表予定時期

学生募集要項等の種別		発表予定時期	備考
入学者選抜要項(本冊子)		7月中旬	——
一般入試学生募集要項(全学部在中)		10月上旬	入学願書付
推薦入試(一般推薦枠)学生募集要項	教育学部	7月下旬	
推薦入試学生募集要項	システム工学部	7月下旬	
	観光学部	7月下旬	
推薦入試・スポーツ推薦入試学生募集要項	経済学部	7月下旬	
帰国子女・社会人特別入試学生募集要項	経済学部	7月下旬	
社会人特別入試学生募集要項	観光学部	7月下旬	
AO入試学生募集要項	観光学部	配布中	
私費外国人留学生特別入試学生募集要項		10月上旬	

### 2. 学生募集要項等の請求方法

※Eメールによる請求はできません。

#### (1)本学HPからテレメールを利用して請求する場合

本学HP (<http://www.wakayama-u.ac.jp/admission/>) からテレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。詳しくは本学HPをご覧ください。

#### (2)インターネット(パソコン・スマホ・携帯電話)又は自動音声応答電話で請求する場合

##### ①テレメールで請求する方法

ア 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。



インターネット(PC・スマホ・携帯電話)の場合		自動音声応答電話の場合	
<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a> PC・スマホ・携帯電話 各社共通アドレス		IP電話	050-8601-0101
バーコード バーコードを読み取り、アクセスした場合は 資料請求番号の入力は不要です。			

※IP電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

イ 資料請求番号(6桁)を入力又はプッシュしてください。

資料名	資料請求番号	料金(予定)	発送開始予定日
大学案内	565842	300円	7月20日頃
入学者選抜要項(本冊子)	585842	180円	7月20日頃
入学者選抜要項(本冊子)+大学案内	565802	300円	7月20日頃
一般入試学生募集要項	585802	300円	10月15日頃
一般入試学生募集要項+大学案内	545902	350円	10月15日頃
推薦入試(一般推薦枠)学生募集要項	教育学部 585812	215円	7月30日頃

資 料 名	資料請求番号	料金(予定)	発送開始予定日	
推薦入試学生募集要項	システム工学部	5 8 5 8 3 2	180円	7月30日頃
	観光学部	5 4 5 9 3 2	180円	7月30日頃
推薦入試・スポーツ推薦入試学生募集要項	経済学部	5 8 5 8 2 2	215円	7月20日頃
帰国子女・社会人特別入試学生募集要項	経済学部	5 4 5 9 1 2	215円	7月20日頃
社会人特別入試学生募集要項	観光学部	5 4 5 9 4 2	180円	7月30日頃
A O入試学生募集要項	観光学部	5 8 7 8 3 2	215円	配布中
私費外国人留学生特別入試学生募集要項		5 4 5 9 2 2	180円	10月15日頃

※料金はお届けした資料に同封されている支払方法に従ってお支払いください。  
(支払いに際して手数料が別途必要になります。)

ウ あとはガイダンスに従って登録してください。

※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日から2～3日程で資料が届きます。

※発送開始日以降に請求された資料は請求してから2～3日程で届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、4日以上かかる場合もあります（お届けまでの日数は請求日の翌日を起算とします）。なお、5日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。

※テレメールでの資料請求についての問い合わせ先

『テレメールカスタマーセンター』 IP電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

## ②「モバっちょ」で請求する方法

### ア 携帯電話・スマホを利用する場合

下記のバーコードでアクセスしてください。

「モバっちょ」



資 料 名	発送開始予定日	料金(予定)
大学案内	7月20日	200円
入学者選抜要項+大学案内	7月20日	300円
一般入試学生募集要項	10月予定	200円
一般入試学生募集要項+大学案内	10月予定	300円

(料金の支払い方法)

- ・携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払い（別途手数料50円が必要になります。）
- ・コンビニ後払い（別途手数料126円が必要になります。）

携帯電話・スマホの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒に支払いができない場合があります。その場合、コンビニ後払いを選択してください。

イ パソコンの場合（クレジットカード決済のみとなりますが同じ料金で請求できます）



【URL】 <http://djc-mb.jp/wakayama-u3/>

※モバっちょでの請求についての問い合わせ先

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター

TEL 050-3540-5005（平日 10:00～18:00）

(3) 本学へ直接来学し、受け取る方法

配 布 場 所	配 布 時 間
和歌山大学入試課(事務局棟3階)	平日の午前9:00～17:00
事務局棟玄関ホール(和歌山大学バス停前)	平日の上記配布時間帯以外及び土日祝日でも配布しています。

## 学部の紹介

### ◎ 教育学部

教育学部は、その前身を明治期に発足した師範学校におく、本学でもっとも古い歴史をもった学部です。昭和24年（1949）新制和歌山大学では学芸学部、その後、教育学部と学部名称は変わりますが、その間一貫して教員養成を通じて地域社会に大きな貢献をしてきました。

平成元年（1989）に教員養成以外にも視野を広げた、教員免許状取得を目的としない新課程を設置し、組織や名称を変更しながら今日まで継承してきましたが、平成27年（2015）入学者をもって終了し、学校教育教員養成課程に一本化しました。これは、少子化や学力低下、いじめや不登校など、深刻化し、複雑化していく諸問題に対応するため、教員養成に学部の力を集約させることを狙った改革です。これまで新課程が担った、学校の外への視点や幅広い教養を教員養成課程に取り込みつつ、これらの問題解決にあたることを考えています。

この課程には初等教育コース、中等教育コース、特別支援教育コースの3つのコースをおきます。このようにキャリアパスを明確にすることで、自分のめざすべき進路にまっすぐに向かうことができるようにしました。もっとも、それぞれのコースは相互に関連しているので、それらをつなぐ視点も大切にしています。具体的には小・中連携を中心に特別支援教育や幼児教育とつなぎます。

本学部が力を入れていることの一つに、実践力の向上があります。これは単に「即戦力の養成」というのとは少し違います。実際、多様な学校現場ですぐに役に立つ人材になるのは至難です。大切なことは、困難な教育現場にあって、日々悩みながら同僚たちと協働して子どもの支援に向かう覚悟と姿勢を準備することです。

そのためには、自主的で多様な教育経験が必要になります。教育実習はその最大のものですが、それ以外にへき地・複式教育実習のようなオプションの実習、経験豊かな現場教員の授業、さらには教育ボランティアや教育系のサークルなど課外の活動も多く用意されています。これらを通じて、悩みながら成長し続ける教員になっていけるよう支援しています。

#### 初等教育コース

このコースは児童の発達や教科のつながりなどを総合的に捉え、小中連携の視野を持った小学校教員の養成をめざします。子どもと教育に関する専門的な知識と技能を修得するとともに、教育に関するさまざまな科学・研究分野を学びます。さらに、学校教育の基本的課題のみならず今日の学校内外で多発する複雑で深刻な教育問題に対応できる、総合的で実践的な教育的力量を身につけます。

このコースでは初等（小学校）の専門性を高めるために「初等教育エキスパート科目」を設定し、教職分野の力や小学校教科の指導法及び教科内容の力をつけます。また小中連携を意識した「小中連携科目」の履修により校種間のつながりを意識した学びができます。このコースでは卒業要件として、〔小学校教員免許1種〕の取得が課せられます。本人の希望により幼稚園教員免許や中学校教員免許、高等学校教員免許、特別支援学校教員免許の取得が可能です。卒業後の進路としては、小学校を中心として、幼・中・高・特別支援学校の教員のほかに、心理職、児童施設指導員、障害者施設指導員、公務員、大学院進学などがあります。

## 中等教育コース

教科（分野）の専門性を深めつつ、中学校・高等学校教員の養成をめざします。子どもと教育に関する専門的な知識と技能を修得するとともに、学校における各教科に関する幅広く深い知識と専門的技量を修得します。さらに、文化の継承・発展という教育の基本的課題に対応できる、総合的で実践的な教育的力量を身につけます。

このコースでは教科の専門性を高めるために「中等教育エキスパート科目」を設定し、教職分野の力や中学校・高等学校教科の指導法及び教科内容の力をつけます。このコースでは卒業要件として、〔中学校教員免許1種〕の取得が課せられます。本人の希望により小学校教員免許、高等学校教員免許、特別支援学校教員免許の取得が可能です。卒業後の進路としては、中学校・高等学校を中心として、小・特別支援学校の教員のほかに、諸種の教育関係職、公務員、大学院進学などがあります。

## 特別支援教育コース

このコースでは、特別支援教育に関する専門的な知識と技能を修得します。通常の教師としての資質を高めながら、学習や発達に困難のある児童生徒や、心身に障害を有する児童生徒など、教育上特別なニーズを有する子どもの指導、支援に関する高度な専門性を身につけることが目標です。

授業では、特別支援教育に関する教育学、心理学、指導法、医療、福祉について、系統的な知識や技術を学ぶとともに、教育の時代的な変化の背景にある思潮や、教育の原理、歴史についても学習し、表面的スキルの修得に終わらない深い学びをめざします。さらに子どもと接する機会を多く設け、体験を通して学ぶことができる授業を展開しています。

このコースの卒業要件として、〔小学校教員免許1種〕又は〔中学校教員免許1種〕の取得に加えて、〔特別支援学校教員免許1種〕を取得することになります。

卒業後の進路は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員のほかに、福祉施設職員、公務員、一般企業、大学院進学などがあります。

## ◎ 経済学部

本学部は、1922年（大正11年）に創立された旧制和歌山高等商業学校以来の伝統を受け継ぎ、100年近くわたって社会に多くの優れた人材を送り出してきました。この間、時代と社会の要請にこたえながら、経済社会の理解に不可欠な学問分野である経済学、経営学、会計学、情報学、法学の教員を揃え、論理的思考力、専門知識、実務能力、幅広い教養を有する人材の養成に努めてきました。卒業後の進路は、金融・製造・流通・情報・公務など多様な業種にわたり、昨今の厳しい就職状況下でも就職率は高い水準を保っています。又、本学大学院経済学研究科修士課程に進学する学生もいます。優秀な成績を修めた学生は、3年次修了時点で大学院に進学できる制度が設けられています。

近年の多様化・複雑化する社会においては、複数の学問分野にまたがる専門知識を活用し、一人ひとりが他の人と協力しながら問題を発見・解決する能力が求められています。そのような能力・資質を身につけるために、本学部のカリキュラムは、経済学、経営学、会計学、情報学、法学の各学問領域での体系的な学修に加え、これらのうちのいくつかの学問領域の学修を組み合わせています。

す。そのうえで、卒業後の進路において必要となる専門知識や実務能力などを考慮して横断的な学問領域における授業科目を体系化しています。学生は初年時から将来の自分の姿を思い描きながら主体的・計画的に学修を進めます。このカリキュラムでは、学修目標とそれによって目指せる可能性のある代表的な進路を想定し、次の「プログラム」を設けています。

#### 「グローバル・ビジネス&エコノミー」

グローバルな視点から経済領域・経営領域で種々の課題に対応できる能力を身に付け、グローバル企業、国際機関、NPO・NGOなどにおいて中心的な役割を担える人材となることを目指します。

#### 「企業分析・評価」

企業の資金調達・運用から事業譲渡など、銀行の融資審査や証券会社の引受、会計事務所のコンサルティング業務、一般企業のファイナンス関連業務などで企業価値の分析及び評価を行うことができる人材となることを目指します。

#### 「ビジネスデザイン」

新たな視点から事業、企業の再活性化に取り組める能力を身に付け、企業の企画部門などにおいて、高い企画力を持って組織変革や業務改善を担える人材や、起業家などを目指します。

#### 「企業会計・税法」

会計学及び税法の視点からの実務能力を身に付け、企業の経理・財務部門において、会計・法制度の知識をもとに組織活性化の支援に取り組む人材や、税理士、公認会計士、不動産鑑定士、国家・地方公務員などを目指します。

#### 「地域公共政策・公益事業」

地域社会における課題解決能力を身に付け、地域の活性化を支援する国家・地方公務員や、公益性の高い事業主体の職員などを目指します。

#### 「サステイナブル・エコノミー」

経済における持続可能性を実現できる多様性・柔軟性を有する能力を身に付け、企業のCSR関連部門、社会的企業、環境NGO・NPOなどにおいて、多様な利害関係者と各組織の橋渡しとなれる人材となることを目指します。

## ◎ システム工学部

### システム工学部システム工学科の特徴

近年、科学技術の急速な発展に伴い、さまざまな工業技術が高度化・専門化してきました。又、一方で、エネルギー、環境、情報のようにグローバルに変化する課題から地域の産業の再生や振興といった課題にも対処することが要求されるようになってきました。前者は各専門分野の分化、後者は専門分野の統合・総合化を示唆しています。

このような状況の下にある産業界や社会の要請により柔軟に対応できるよう、システム工学部で

は平成27年、これまでの5学科（情報通信システム学科、光メカトロニクス学科、精密物質学科、環境システム学科、デザイン情報学科）を1学科（システム工学科）へと改組を行いました。システム工学科には、10教育研究領域（メジャー）を設定し、学生自らが将来を志向し、自らの興味や資質に見合った領域を主体的に選択することができます。具体的には、2つのメジャーを選択することによってコースを構成し、学科に相当する専門分野を学ぶことができます。これによりこれまでの学科の枠組みに固執することなく、広範かつ柔軟な専門性をもった応用力・適用力が養われることが期待されます。以下に、各メジャーの教育目的とともにいくつかのコースを示します。

• **メジャー：機械電子制御**

機械電子制御メジャーでは、幅広い視点から論理的思考をもって問題の解決にあたることができる技術者をめざして、機械工学、応用数学などの素養を身につけた後、制御工学、ロボット工学などのシステム論を用いた設計、運用に関する専門技術について学びます。

• **メジャー：電子計測**

電子計測メジャーでは、人々の生活や産業を支える情報のセンシングや処理システムを創造できる技術者の育成をめざして、電気電子工学や光工学の基礎と、計測デバイスや計測情報処理などの要素技術、さらにこれらを統合した計測システムについて学びます。

• **メジャー：応用物理学**

応用物理学メジャーでは、物質におけるナノスケールの世界を探求し、新しい材料やデバイスの開発に対する社会のニーズに柔軟に対応できる能力を身につけられるように、物性物理学、材料科学、電子工学にわたる専門分野を学びます。

• **メジャー：化学**

化学メジャーでは、化学に関わる基本的法則を学んで物質に関する理解の基盤を作った後、ナノレベルの世界における化学現象や法則、原子・電子レベルでの相互作用の発現や、新たな機能性物質の設計・開発などの専門技術について学びます。

• **メジャー：知能情報学**

知能情報学メジャーでは、人間とコンピュータの新たな関係が再構築される時代において、科学者や技術者として活躍できる人材を育成するための専門教育を行い、人工知能やロボット、視覚情報処理、コンピュータグラフィクスなどについて学びます。

• **メジャー：ネットワーク情報学**

ネットワーク情報学メジャーでは、インターネット上に構築される、新たな情報ネットワーク社会において、科学者や技術者として活躍できる人材を育成するための専門教育を行い、モバイル通信やWebシステム、ビッグデータの解析などについて学びます。

• **メジャー：環境科学**

環境科学メジャーでは、環境を守り、育て、次世代に継承する人材の育成をめざして、環境破壊

を未然に防ぐ、自然災害から命や暮らしを守る、地球温暖化に対応する、美しい風景を創造するなど、持続可能な社会の実現に貢献するための知識と技能を学びます。

• **メジャー：環境デザイン**

環境デザインメジャーでは、人と自然のよりよい関係を具現化できる人材の育成をめざして、自然から生活空間にいたる環境を一体として捉え、自然再生、防災緑化、自然エネルギーなど自然と調和する技術、景観保全やまちづくり、建築設計などの計画技術について学びます。

• **メジャー：メディアデザイン**

メディアデザインメジャーでは、メディアデザインと情報の双方の知識を持つ人材の育成をめざして、情報技術としてのサウンドやビジュアルのデザイン、人間工学に基づくインタフェースデザイン、さらにその基礎となるデザイン制作や企画方法について学びます。

• **メジャー：社会情報学**

社会情報学メジャーでは、人や社会を豊かにする情報システムを企画・設計する能力を身につけます。情報技術に支えられた社会の仕組みを知り、新しい情報システムの可能性を探求するために、ソフトウェア開発や高度なコミュニケーションについて学びます。

代表的なコースとそれを構成するメジャー、期待される就職先

コース名	メジャー名	期待される就職先
ロボティクス	機械電子制御 電子計測	機械・電機、自動車、精密機械
ナノテクノロジー	応用物理学 化学	半導体・電子部品、精密機器、 化学・医薬品・化粧品、素材
コンピュータサイエンス	知能情報学 ネットワーク情報学	情報・通信、ITサービス、電機
デザインシステム	社会情報学 メディアデザイン	情報・通信、ITサービス、出版・印刷
環境システム	環境デザイン 環境科学	公務員（土木、建築、造園）、建築・住宅、 環境プラント
環境化学	環境科学 化学	環境職公務員、環境測量士
電気電子工学	応用物理学 電子計測	電気電子メーカー、精密機械
知能機械システム	機械電子制御 知能情報学	自動車、電機、精密機械、生産機械、医療機器、 情報通信産業、ゲーム・アミューズメント
ネットワーク社会システム	ネットワーク情報学 社会情報学	情報通信、サービス産業、 ゲーム・アミューズメント

○システム工学部では、スーパーサイエンスティーチャープログラムを設けます。これはシステム工学部卒業後、本学教育学研究科に進学し高校の理科の教員免許の取得を目指すコースです。

## ◎ 観光学部

21世紀は「観光の時代」。世界のあらゆる国や地域で最も有望な成長分野として注目されるのが観光です。日本においても観光は戦略産業と位置づけられ、官民一体での「観光立国」実現に向けた政策や取組が加速するなか、観光産業や行政の現場と密接に連携しながら、新しい観光学の創造及び観光を支えるに相応しい豊かな教養と専門性、さらにはグローバル時代に対応したハイレベルな国際的・学際的視点を有する観光人材の輩出がますます期待されています。和歌山大学観光学部は、観光教育研究における日本の、そしてアジアの拠点として、これらの人材養成に応えるべくさらに進化します。

### 観光学部の特色

- ①観光学は人間の生活・文化に関わるあらゆる分野を総合した学問であることから、人文・社会科学から自然科学までの幅広い分野を融合的・横断的に学ぶことのできる充実したカリキュラムを用意しています。
- ②最先端の観光理論を学ぶことはもちろん、教員と学生が自治体と連携して地域課題の解決に取り組むプログラムや海外の連携大学等と共同で取り組むエリアスタディ等の機会を通じて、社会の各方面から即戦力として期待される実践力が身につきます。
- ③ハイレベルな観光人材に相応しい教養の醸成を重視し「観光プロデュース論」「日本文化演習」などユニークな実践科目を配置するほか、グローバル・プログラムの導入を通じて国際化時代における言語面でのバリアフリー化を進めます。

入試に関する問い合わせ先

# 和歌山大学

## 《一般入試照会先》

入試課

〒640-8510 和歌山市栄谷930

TEL 073-457-7116

## 《特別入試及び学部照会先》

- |           |          |                  |
|-----------|----------|------------------|
| 【教育学部】    | 学務課学務第一係 | TEL 073-457-7219 |
| 【経済学部】    | 学務課学務第二係 | TEL 073-457-7805 |
| 【システム工学部】 | 学務課学務第三係 | TEL 073-457-8021 |
| 【観光学部】    | 学務課学務第四係 | TEL 073-457-8542 |

### 〈注意〉

- ・ 入学者選抜に関する全ての事項は、志願者本人がこの選抜要項及び各学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・ この入学者選抜要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「入試情報」(<http://www.wakayama-u.ac.jp/admission/>)でお知らせします。
- ・ 電話での照会は、祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)を除く、月～金曜日の9時から17時(12時から13時は除く)に、この選抜要項及び各学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。